

## 論述ブースト No.5

**科学的思考を仮説・検証・結論で書く**  
—— 実験考察論述を構造化する

**目標：**医学部・理系大学院入試の「実験考察問題」に対して、仮説→実験デザイン→結果解釈→結論という科学的思考の構造を答案に反映させる技術を習得する。

## 授業の仕掛け（直感への衝撃）

**導入の問い：**「この実験の結果からどんなことが分かりますか？」→多くの生徒が「分かった」とだけ書く。採点者が見たいのは「なぜその結論が導けるのか」の論理的な流れ。

**核心：**科学的論述の4ステップ：仮説（Hypothesis）→実験（Experiment）→結果（Result）→結論（Conclusion）

## 採点者の視点

**採点者はここを見ている —— 科学的思考・仮説検証・考察論述で合格  
答案はこういう「構造」をしている****① なぜ同じ内容でも評価が違うのか**

清光学院の講師陣は、これまでに皆さんと同じ志を持った先輩受験生たちの答案を何千枚も採点し、合格・不合格の判定を下してきました。その経験から言えることが一つあります。

**「正しいことを書いていても、論証の構造が見えない答案は、採点者の印象に残らない。」**

科学的思考・仮説検証・考察論述では、**仮説→検証→結論の構造根拠**が答案の質を大きく左右します。

**② 科学的思考・仮説検証・考察論述で採点者が見ているポイント**

「仮説を設定し検証条件を明示してから結論を導いた答案」が採点者に「科学的思考をしている」と映る

**💡 この授業の使い方**

各問題のワンポイントには「採点者がどこを評価するか」の視点が含まれています。結論を出すだけでなく、論証の構造を意識しながら取り組んでください。

**③ 総合型選抜・口頭試問でも同じ構造が問われる**

採点者（大学教員）が口頭試問で確認したいのは「意見があるか」ではなく「なぜそう考えるかを構造的に説明できるか」です。この授業で習得する「論証の骨格」は、あらゆる試験形式に通用します。

## 続きは講義でご覧いただけます

この教材には、採点者の視点・核心的な解法・入試問題・演習・まとめがさらに収録されています。

大学教授陣が設計した「普通の授業では出会えない接続点」を体験できる完全版は講義でご提供いたします。

清光学院 AP SEIKO 理系講座 © 清光教育総合研究所